



当社では環境負荷低減活動の一環として、クレーム・不適合の削減に取り組んでいます。

2021年度 スローガン

進めよう ヒューマンエラー対策

品質保証の取り組みについて 明文舎品質保証グループ

今年度の品質保証スローガンとして、ヒューマンエラー対策を取り上げています。

ヒューマンエラーを防ぐ手段として、人に頼らないシステム化や、誤った行為をしようとしてもできないようにするポカヨケなどが挙げられますが、当社の製品は、品種が多く且つ短納期で対応するため、生産管理上、人の力に頼らざるを得ない部分が多々あり、人がミスをしなないようにしていく活動が重要になってきます。

人間は、外からの情報を目、耳などの感覚器官から脳へ伝達し、そこから判断して行動を起します。情報を誤って受け取ってしまった場合、判断や行動も誤ってしまうことからヒューマンエラーが発生します。

手順書などで作業指示をする場合、単に「確認する」だけではどこをどのよう確認するのか曖昧なままで、人によって確認方法やレベルが変わってしまう、結果として不適合やクレームに繋がってしまいます。

また、品質確認の際、製品の出来栄えだけを見ていては、たまたま品質に

問題がある製品が出てきた場合、見逃しが発生します。出来栄だけで決めた手順通りの作業ができていたか判断できません。決められた手順通りの作業が継続して出来ているかを確認し、出来ていなければ、正していくことを進めていかなければ間違いを減少させ、不良を低減することには繋がりにません。

これらのことを踏まえ、ヒューマンエラー対策として、**曖昧になっている手順を明確に**、をコンセプトに「クレーム対策が見直しされているか」「決められた手順を守る仕組みになっているか」を確認するための対策が、継続して実施出来ているかを、品質強化月間のパトロールの中で確認をしています。特にグループ長は、普段関わりの少ない部署を中心にまわっています。このように手順を明確にしてそれを継続して実施、手順通りに出来ていなければ、改善する仕組みを推進することで不良を低減し、お客様の期待を裏切らない品質保証体制を構築していきます。

CHECK

<2021年度 全体品質スローガン>

進めようヒューマンエラー対策 -人は本来ミスするものを前提した基本的考え方-

- ① 人に頼らないシステム化（センサーやカメラ等）の推進（メンテナンスも同時に実施）
- ② 人がミスをしないように教育を行う
- ③ 誤った行為をしようとしてもできないように考える（ばかよけ策の推進）





2021年度の中間報告



◆ 行動指針 ◆

— 面倒くさいを追い続ける —

「面倒くさいを追い続ける」

面倒くさい仕事にこそ、私たちの出番があります。
工夫が力になります。知恵を集めて乗り越えましょう。

「相手の不安を取り除く」

誠実で素早い対応こそが、相手の不安を取り除きます。
デジタル化が進むほど「信頼」は大切な財産になります。
ていねいな態度で、人や仕事、そして時間と向き合える
私たちは、大人の優しさを持つ集団で有り続けましょう。

行動計画（1月～7月）の中間報告

達成レベルの見方は前ページを参照ください。

1. 事業継続を目的とする活動

（面倒くさいに挑戦していく風土の継続 / 改善提案活動の継続と推進 / 顧客の期待を裏切らない品質保証体制 / 次世代に繋げる経営体制への変更着手）

→ 事務所・開発・DTP・PODのレイアウト変更の実施（5月）POD新機械を導入し、デジタル化の推進を加速させています。また、品質保証では「行為保証」を推進しています。

達成レベル ●●●●●☁️

2. 顧客拡大を目的とする活動

（新技術を軸に製造した商品の発信 / 通販事業の充実と、多角的な推進 / 新たな営業ルート開拓の実施）

→ 通販事業の拡販を行っており、7月時点で昨年度対比154%増加となっています。

達成レベル ●●●●●☁️

3. 社会継続を目的とする活動

（安心して楽しく働ける職場環境の継続 / 住みよい未来に繋がる環境保全活動 / 大人の優しさを備えた各人の魅力向上）

→ デマンドコントロールの使用・省エネ空調の更新を行いながら 使用電力量削減を行っています。

達成レベル ●●●●●☁️

内部監査

内部監査では、全て現場でのサイトツアーを重視しながら、環境改善の進行状況と課題をその場で明確にし、是正方法を現場リーダーと共に考える実行性を重視して監査を行っています。

	是正	推奨	良い推奨 (+評価)
'18年	5件	23件	21件
'19年	0件	17件	14件
'20年	2件	11件	21件

防火管理への取組

・4月7日 今年も女性社員が加わり、消火栓操作の指導を含め放水訓練をしました。



安全週間への取組

・7月15日 適切な機械の取扱いとカッターの安全な取扱いの勉強会をしました。



提案活動経過報告（10月～7月）

当社では、提案活動を予防措置と位置付け積極的に展開しています。

昨年10月～今年7月の間に提出された提案件数は318件あり、その中から推薦に選ばれた提案が31件ありました。下記は、その中から10件抜粋したものです。

No	提案件名
1	バリア用製版の自動面付
2	W1号機給支部冷却ファンの改善
3	「消えるアカペンの怪」解決！
4	同一仕様のQC工程表のマスターによる改訂管理
5	底部シワ・汚れ品質確認改善
6	3Rが増え、角丸薬袋の進化にともなう改善
7	他部署応援時間の集計をエクセルデータ化した
8	名刺面付を可変印字ソフト（MVP）で行う
9	マスキングシートで色確認を正確に
10	通販の受注済ファイルの分け方を変更